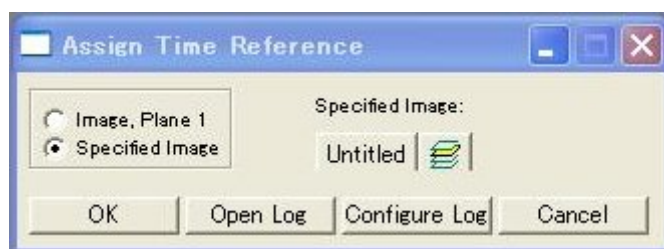


Assign Time Reference

タイムラプスの Stack ファイルでは Elapsed Time は通常 1 枚目のプレーンが 0 となりますが、Assign Time Reference 機能を使う事で任意のプレーンの Elapsed Time を 0 として取り扱う事が可能となります。

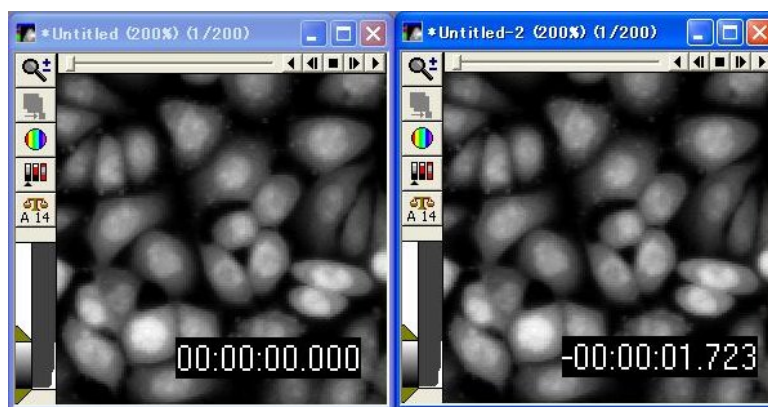
なお、Elapsed Time を 0 と指定したプレーンの前に画像がある場合、そのプレーンの Elapsed Time 表示は-(マイナス)表示となります。

- 1) タイムラプスの Stack ファイルを Load し、Measure メニューの Assign Time Reference を開きます。
- 2) 撮影済み Stack 画像のスライダーを動かし、Elapsed Time を “0” にするスタートポイントの画像を表示させます。
- 3) “Specified Image”にチェックを入れ、Specified Image : イメージボックスで Live Replay 画像を選択し、Image セレクタは Current Plane にします。



OK ボタンを押すと、現在表示している Plane の Elapsed Time が” 0 : ゼロ” となります元に戻す場合は”Image ,Plane 1”にチェックを入れ、OK を押してください。

- 3) Display メニューの Graphics—Date/Time で Elapsed Time を選択し時刻を Stamp します。



左は普通にタイムスタンプを入れた画像。

右は今回の操作を行った後にタイムスタンプを押した画像で、Elapsed Time 表示が、撮影開始を “0” とした前後±時間表示に変化しています。